



ワイズメンズクラブ 国際協会 西日本区

京都部部報

3号 / 2023-2024年度版 BULLETIN



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION JAPAN WEST ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

京都部 部長主題	仲間を増やそう Make more friends	京都部部長 武村松一 (京都ウイング)
西日本区理事 主題 スローガン	未来に灯そう(ともそう)希望の光 "Let's illuminate the light of hope for the future" 互いに認め合おう 世界の友と "Let's recognize each other with our friends from all over the world"	西日本区理事 深谷 聡 (名古屋)
国際会長主題 スローガン	"Let Your Light Shine" 「輝かそう、あなたの光を」 "Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation" 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」	国際会長 (IP) Urlik Lauridsen (デンマーク)
アジア太平洋国際地域 会長主題 スローガン	"Be the light for change" 「変革のための光となろう」 "Shine and empower through fellowship" 「親睦を通じて輝き、力を得よう」	アジア太平洋地域会長 (IP) 利根川 恵子 (東日本区 川越)

1年間ありがとうございました。部長って、最高っす!



京都部部長 武村 松一
(京都ウイングワイズメンズクラブ)

京都部第4回評議会が終了し、京都部部旗を次期部長に引き継ぎ私の役目もこれで終了したわけだが、思い起こせば1年前、直前部長より京都部部旗を引き継いだ際に感じたあの「不安」な気持ちは何だったのだろうか？今まで商売上「不安」になったことは数えきれないほどある。次の支払日にどう考えても400万円足らないとか、このまま雨が続けばどう考えても工期に間に合わないとか、うっかり普通預金から当座預金に振り替えを忘れて小切手が不渡り寸前までいったとかetc・・・。「経営者は孤独や」という亡くなった父親からの言葉に、妙に納得していた自分がいた。そのような「不安」と同等の気持ちだったことを思い出した。しかし、しかしである。「部長」は「経営者」ではない、と気づくにはさほど時間はかからなかった。そう、私にはたくさんの「仲間」がいたことに気づいた。少々の義務感に苛まれても、いろいろな「仲間」がそれらの「不安」をことごとく解決してくれた。本当に感謝に明け暮れた1年間であった。

京都部には19のクラブがある。みんなそれぞれの思考・特徴があり、この部長経験によってすべてのクラブを訪問することができ、ある程度各クラブの「色」を体験・体感できたことは財産であった、と今になって思う。部長を受けなければこの経験は出来なかった。その中でキャピタルクラブ40周年・めいぷるクラブ40周年・トップスクラブ30周年と3つのクラブの周年記念例会が開催され、京都部の底力も体験することができた。そして、京都部部会も盛大に開催することができた。総勢400名に迫る「仲間」が顔を合わせ、壮観なる絵面を壇上から見渡せたあの風景は緊張の中でも鮮明に覚えている。これも京都部の底力の賜物であろう。

19クラブの中でもそれぞれ各クラブ自慢のワーク・行事がある。本来はそれぞれのクラブの写真を載せて説明を加えたいところであるが、クラブ数が多いゆえにままならないのは残念である。1年間部長の役職を全うできたことはうれしく思うし、ただその中で確信が持てたことは、京都部はこれからもますます発展していくに相違ない、ということである。500名を優に超えるメンバーの底力は想像を絶するものであり、1年間だけではあるが、そのトップに立たせていただいたことに感謝の気持ちをもって筆をおかせていただくことにします。

1年間ありがとうございました。

■今期を終えて 部役員



次期部長 山下 大輔
京都トップスワイズメンズクラブ

28期の京都部武村部長始めキャビネットの皆様、各主査様一年間本当にご苦労様でした！京都部会では京都部バンドも楽しく拝見させて頂き大いに盛り上がりましたね！一年間近くで見させて頂き色々と勉強させて頂きました事を来期に引継ぎ次期の京都部へ持って行きたいと思っております。

自分の想いを持って京都部全体を盛り上げて行きたいと思えます！そしてまた、各クラブ会長さんも一年間ご苦労様でした。役職の無いメンバーで居た時とでは、クラブの見え方や京都部、YMCAの考えや見方が変わったのではないのでしょうか。色んな考え方のクラブや人とも出会えてより一層ワイズメンズクラブを考えられる様になったと思います。また、この経験を活かしてこれからのワイズライフや仕事にも活かしてみてください。楽しい一年やったと思える会長期を自分の財産として今後の人生にも活用できると思えます。



直前部長 石倉 尚
京都キャピタルワイズメンズクラブ

毎年、この時期に振り返ると一年前のことがずっと昔のここのように感じる反面、この一年があっという間に過ぎたようにも思えます。

今期は心配していたコロナの影響もなく、全ての部の事業を遂行された部長をはじめ、三役・主査・委員長の皆さまお疲れ様でした。一つひとつの事業を終えるたびに、重く大きくのしかかっていた肩の荷を下ろし、顔がほころんでいくことが、お役を引き受けた者の大きな成長になったことだと感じました。クラブ会長や委員長の皆様も同じように笑顔での達成感を味わい、大きく成長されたのではないのでしょうか。京都部に限らず次の部の担い手を選出することも大きな懸案事項でしたが、お陰様で次々期部長を選出することが出来たことも大きな喜びです。これからは輪番制のルールに則り、スムーズに選出されることを願ってやみません。我々のモットーである“強い義務感”をもって、次期もお役目を全ういたします。一年間、ありがとうございました。



監事 中村 隆司
京都ウェルワイズメンズクラブ

京都部の皆様、日頃からワイズダム発展にご尽力を頂き有難う御座います。そして1年間お疲れ様でした。部長に立候補をさせて頂き、次期部長から京都部に携わらせて頂き、今期の監事をもって役員から退任させて頂きますが、皆様のご理解もあり、部長を2年間務めさせて頂いた事から、通常よりも1年多い5年間という月日を皆様と共に過ごさせて

頂く事が出来、私の人生にとって本当に有意義な5年間になりました。そして何よりも、コロナ絶頂期という大変な時期での部長職でしたが、皆様のご協力のお陰でやり遂げる事が出来た事は私の財産であり宝です。勿論楽しい事ばかりではなく、辛い事、悲しい事、しんどかった事など数えきれないほどありましたが、それでもこうやって無事に5年間務めさせて頂く事が出来たのは、役員の皆様や京都部の皆様、そしてウェルクラブの皆様のご理解ご協力のお陰です。これからもこの経験を活かして更なるワイズダム発展の為に尽力させて頂く所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。本当に楽しい5年間でした。これからも「楽しくなければワイズじゃない」の精神でワイズライフを楽しみま〜す！



統括担当主事 **藤尾 実**
京都 YMCA

2023 年度は、新型コロナウイルスの影響もほぼなくなり、インターナショナル・チャリティーラン、国際協力街頭募金、チャリティーバザーなど、多くのワイズメンズクラブメンバーの皆様へ支援いただき、久しぶりに開催することができました。また、リトリートセンターの維持管理ワーク、フェスタ運営など、京都 YMCA の諸活動に多大なご支援をいただき感謝申しあげます。また、YYY フォーラムでは、京都 YMCA が行う発達障がい児支援、それに関わるユースボランティアリーダーに焦点を当てていただき、YMCA が行っている青少年の育成について、多くのワイズメンズクラブメンバーに知っていただく貴重な機会を与えていただきました。他にも様々な場において、YMCA の活動をワイズメンズクラブ各クラブの皆様が、いつも担っていただいております。今年は「京都 YMCA 中期計画（2024-2026 年度）」のスタートの年になります。これまで取り組んできた事業の見直しと改革を継続するとともに、引き続き「地域から必要とされる存在になる」ため、新しい展開に向けた土台を整える条件整備の 3 年間の初年度となります。YMCA とワイズメンズクラブが車の両輪の関係となり、共に地域から必要とされる存在となり、社会の課題に取り組んでいきたいと思ひます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



書記 **谷口 豊**
京都ウイングワイズメンズクラブ

第 28 期京都部の書記業務を無事終えることができました。これもひとえに武村京都部長はじめ京都部役員の皆様ならびに京都部各クラブの皆様がお支えいただけただからだと心より御礼申し上げます。各主査がいろいろな行事を精一杯こなされ、無事に 1 年やり通されたことに感服し感謝申し上げます。1 年間京都部書記をさせていただき各クラブが様々な事業に取り組まれているのが非常に良く分かり、京都部の若き熱きワイズパワーに触れ京都部は益々健在であると再認識しました。今回京都部の経験をもとに今後のワイズ活動に取り組めたらと思ひます。1 年間、本当にありがとうございました。感謝です！最後になりましたが、武村部長本当にお疲れさまでした。



書記 **西野 健次**
京都ウイングワイズメンズクラブ

武村部長から、「これからのワイズライフの為にも京都部でやってみろ、全体見て自分に気づけるわ」と言われ京都部キャビネットと言う大役を拝命しました。第 2 回評議会議では時間を勘違いして大遅刻をしてしまいましたが、そのあとの京都部会での評議会議案報告ではキャビネットの皆さんのサポートでシレっと何事もなかったように報告できました。もう、感謝しかありません。主査の皆さんには遅刻したのにあんなに堂々とよく人前で話せるなあ・・・とイジられたのも思い出です。さて、今期を終えて私が感じていること、学んだことを述べさせていただきます。まず、自クラブを出て京都部内の各クラブの仲間との出会いやコミュニケーションのお陰でワイズメンズクラブの見え方が変化しました。自クラブのスタンダードで見ていたワイズメンズクラブでしたが、実はもっと色々な考え方や見方があるということに気づきました。武村部長のいつも楽しい雰囲気を作ろうとされる姿、その脇を固める京都部役員と各事業主査の皆さん、担当統括主事との一体感にワイズメンズクラブの京都部のチームワークを感じました。また部長輪番制度を確立された時の考えや、そのごの制度の運用状況に反省される石倉直前部長の姿を見て、その真剣さに驚いたことを鮮明に覚えています。知らないところでこんなにも京都部全体のことを考えているワイズメンがたくさんおられるということを実感しました。また中村監事からは、やるからには楽しめ、楽しめないならやるなと言われた言葉が心に残ってます。

やるからには楽しむ。これがワイズの醍醐味なんだと教えられました。また、部長公式訪問に随行される各事業主査の方々の動きも私では到底真似できないと思いながら見ていました。藤尾担当統括主事からの報告では、YMCA の状況をタイムリーに知ることができ、YMCA の活動が身近なものと感じました。そしてキャビネットの方々にはいつもサポートして頂き、仕組みを教えて頂き本当に感謝しております。有難うございます。書記と言うお役目を頂戴し、議事進行の中で何か見落とされる事がないかを客観的に見て行こうと意識しておりました。また、議事録は会議後 3 日以内に作成してキャビネットで共有する事をテーマにして取り組みました。ところどころ、誤字脱字のご指摘は頂戴しましたが、私なりには合格点だったかと思っています。自分が作成した議事録が京都部HPにアップされる・・・多くのワイズメンがおられる中でこんな経験ができるのもご指名を頂いた人でしか感じるこのできない、プレッシャーでした。いい経験をさせて頂きました。今期の終わりを迎えて。もっと積極的にかかわっていった方がよかったと思っています。あまりにもワイズメンズクラブのことを知らなさ過ぎたので何をどうすればいいのか良くわかっていませんでした。しかし、1 年間で少しワイズメンズクラブを知れました。今更遅いですが、正しくワイズメンズクラブを理解するというのが、積極さに繋がり、楽しさに繋がり、充実に繋がると考えています。

1 年間、有難うございました。



会計 **廣部 仁太郎**
京都ウイングワイズメンズクラブ

皆さま、1 年間おつかれさまでした。まだまだ自分には荷が重いと思いつつも、お声かけくださったことに感謝して、とにかく頑張ろうと 1 年間努めてまいりました。

今期会計に置きましては基本的に前期を踏襲し、粛々と作業をするまででしたが、心配されたホームページの管理につきましても無事に継続されることができ、管理費の予算化ができました。また部費の納入につきましても、各クラブさま速やかに納めていただくことができ、大変感謝しております。ありがとうございました。この 1 年間は一気にワイズの交流が広がり、自分にとって大変刺激的かつ緊張の中での 1 年でありました。期を終えて、ホッと肩が軽くなったような気持ちになると共に、少し寂しい気もしますが、自クラブに腰を据えながら在京クラブの皆さまと共に YMCA を支え、地域に貢献する活動に引き続き取り組んでまいります。1 年間本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



事務局長 **北川 雅俊**
京都ウイングワイズメンズクラブ

武村京都部長期役員の皆様、京都部クラブ会長の皆様 1 年間おつかれさまでした。

この 1 年間、クラブ会長の皆様にとっては何かと書類など送って頂くよう催促する口うるさい部署だったかもしれませんね。(笑) それでも京都部の皆さんは色々なシーンでお声をかけて頂いたり楽しく、優しく接していただき京都部のつながり、強さを感じられる最高の仲間でした。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。また武村期役員の皆さん、改めましてお疲れ様でした。京都部会、ワイズデー、YYY フォーラム、メンバー増強、国際交流、HP バナーなど大変な課題がありましたが無事に終えることができました。本当にいいチームだったと思います。28 期京都部は終わってしましますが、どうかこれからもずっと繋がりを持って頂けたら幸いです。

1 年間ありがとうございました。

■今期を終えて 事業主査



主
題

仲間と共に、個を尊重しつつ、
共に学び、行動し、成長しよう

YMCA サービス・ユース事業主査

井上 和久

京都ワイズメンズクラブ

昨年1月第1回準備役員会に出席した頃は、ここまで道のりは非常に長いだろうと思って、不安と緊張ばかりで、すぐに会長主査研修会があり、あれよあれよという間に今期を迎えました。ワイズに入会して、丸5年でまだまだ分からないことも多いのに、Yサ主査なんて最後までちゃんとできるだろうか、というのが本音でした。今期の京都部は、30代から60代の年代の方がまんべんなくおられ、和気あいあい、武村部長のお人柄が如実に表れていたと思います。部長をはじめ、キャビネット、各事業主査の中で、一番ワイズ歴が短い私にとって、非常に居心地の良い集まりで、毎月の役員会や後会、評議会も時には、仕事が詰んでいて、出席するのが億劫なときもありましたが、年度を通じて参加することができました。今期のYサ事業は特にリトセンワークやチャリティーランなど、ワイズメンのマンパワーが結集する事業を中心に、各クラブの皆様のご協力の下に、非常に有意義な事業を沢山行うことが出来ました。終わってみれば、あっという間の1年でした。今度、主査で経験させていただいたことを糧に、ますますワイズメンとしていろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。一年間ありがとうございました。



主
題

楽しもう地域奉仕！
～笑顔が広がる～

地域奉仕・環境事業主査

山田 維久仁

京都 ZERO ワイズメンズクラブ

私にとっては一番希薄であった地域奉仕・環境事業の主査を仰せつかり、どうして安請負してしまったのだろうと期首のスタートを切りましたが、結果的にとても楽しく勉強になった一年になりました。一番の思い出は、やはり一から作っていった「京都部ワイズデー」です。うまく表現できたかどうかは分かりませんが、500名を超える京都部だから出来る事を。また、限られた予算の中で、京都部のワイズメンの方の費用負担は極力少なく。一人でも多くのメンバーに参加して頂きたいので少しの時間を作って頂けるだけでも出来る事。そうすることで京都部が一丸となり、一般の方にも広くPR出来るようにド派手に出来ることはないかとの思いでした。私が出来たことはこのイメージくらいの事でしたが、私が所属するZEROクラブのメンバーや同期主査のメンバーの素晴らしいアドバイスがあり、今期の京都部ワイズデーを開催することが出来ました。京都部らしい楽しい事業になったのではと思っております。新聞やニュースになるまでは出来ませんでしたが、2025年に向けて西日本区が取り組んでいる「ラオスにYMCAを！」のPRや部長主題の「仲間を増やそう～Make more friends～」に微力ながら貢献できたのではないかと考えております。2月に行いましたチャリティーボウリング大会も190名を超えるご登録を頂き盛大に開催することができました。京都部ワイズデーと共に、多大なご協力頂きました京都部の皆様本当にありがとうございました。

最後に、この一年で京都部では50件を超える地域奉仕・環境事業実施報告書のご提出を頂きました。どのクラブも多くの地域奉仕を実施されており、社会貢献に取り組まれているのが伝わります。また、クラブによっては、勉強会や意見交換の時間を設けられ、積極的に地域奉仕・環境事業に取り組まれておりました。京都部が大きく増員している基盤はこの事業が大きく関係していると思います。

この一年間、勉強させて頂くことばかりではございましたが、京都部の皆様には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



主
題

三方よし、みんな笑顔に！
～ワイズよし、YMCAよし、京都よし。
Good for everyone And.nice smile

EMC 事業主査
大橋 芳夫

京都パレスワイズメンズクラブ

京都部の EMC 事業主査を引き受けて早くも 1 年がたとうとしています。任期は 1 年だけなので、何が出来たのか分かりませんが、充実した 1 年間を過ごすことが出来たと感じています。なかなか出不精なところがあるので、自分から外には出かけないのですが、この 1 年間は多くの他クラブの例会に参加させていただき、多くのワイズメンと交流し、親睦を深めることが出来ました。部長公式訪問の随行、入会式、記念例会と他クラブが開催する時間と空間に混せていただき、緊張あるものの、楽しい時間を共有できたことは、僕にとって良い経験が来ました。入会式ひとつをとっても各クラブの開催のやり方に微妙に違いがあり、それを経験出来ただけでも良かったです。勿論、その方法に良し悪しがあるわけでもなく、各クラブがより良い方法を模索してきた結果なので、今の段階で僕が何か意見を言うことは出来ません。でも、僕がこの経験を今後、自クラブに持ち帰り開催する入会式において、その時にお招きする未来の EMC 事業主査に経験していただけることが出来れば、今年の大きな成果になるのだと考えています。今期は多くの入会者があり、多くの入会式がありました。その全てには参加することは叶いませんでしたが、大半には出席し、華を添えることが出来たと思います。今後は、その新入会ワイズメンとも友達になり、ワイズの楽しさを共有していきたいと考えています。1 年間、本当に楽しかったです。京都部キャビネット、他の主査にも恵まれました。短い間ではありましたが、ありがとうございました。



主
題

交流こそワイズの醍醐味

国際・交流事業主査
市橋 清太郎

京都ウエストワイズメンズクラブ

任期の一年、「交流」の名の下に色んな所に行かせて頂きました。

職務として絶対行かないと行けなかったのは富士山部会での京都プリンスクラブさんと富士山部伊東クラブさんとの DBC 締結式でした。この日は西日本区役員会とバッティングしていた為、西日本区の役員さんが誰も参加できないとあって、本来ならば行ったとしても端っこで立っているだけの立場ですが、西日本区からの唯一の肩書ある参列者としてスピーチの時間まで頂きました。過分な歓迎を受け遠く伊東まで行った甲斐がありました。他にも部長随行の名の下、また同じクラブであった昨年 11 月にお亡くなりになられた故牧野万里子国際交流事業主任の随行も兼ねて、行かなくてもよい他部の部会にたくさん出席させて頂きました。部長公式訪問で沖縄・沖縄美風クラブにも行かせて頂きました。僕は好きでお付きで参加しているだけですが、参加しないといけない部長を始め、重役の皆さまは本当に頭が下がります。

期末の西日本区大会はもちろん、今年は自クラブとトライアングル DBC の間柄である十勝クラブがメインホストの東日本区大会にも参加しました。沢山のお金と時間を使いましたが、それに余りある交流の機会と楽しい時間を過ごす事ができました。

次期はタイのチェンマイで国際大会があります。またまた何の義務もありますが、次期国際会長が DBC の間柄ですので、応援の名目の下、参加して楽しんで来ようと思います。

一年間、ありがとうございました！



主
題

広げよう、ワイズの「ワ」！

PR 委員長
藤井 功輔
京都めいぷるワイズメンズクラブ

本当にあっという間の 1 年間でした。PR 委員長を拝命して京都部で様々な活動に携わる機会を頂いたことに深く感謝申し上げます。部長公式訪問随行で各クラブの例会にてスピーチをさせて頂いたこと、自分自身にとって大変貴重な経験となりました。クラブ毎に特色があり、学ぶことも非常に多かったと感じております。京都部部会では京都部バンドとして武村部長をはじめ、各主査の皆様と記憶に残る思い出作りをさせて頂けました。確かバンドの話は期が始まる前の準備役員会で出た話だったと思いますが、まさか本当に実現するとは思っておりませんでした。ワイズメンの団結力とチームワークを改めて実感致しました。PR 委員会として行った事業としまして、CS と合同の懇談会とワイズデーが大きなイベントであったと思います。特にワイズデーは京都市動物園を会場に開催され、ゾウの飼料代の寄贈と、一般の来場者にも大きなアピールができたんじゃないかと感じております。PR 委員会としての独自の活動は、私の力不足によりあまりできませんでした。京都部HPのバナー広告登録に多くのご賛同を頂いたことは大変ありがたく、PR 委員会の先々の活動の原動力になるものと信じております。目標として掲げた登録 200 件には遠く及ばないまま期が終わることは残念ではありますが、次期、次々期と、年を追うごとに増えていってくれたらと願っております。

武村部長をはじめ、役員の皆様、各主査の皆様、1 年間お疲れ様でした&ありがとうございました！

2024 年 6 月 23 日 (日) 第 4 回 京都部評議会



■上半期を終えて 各クラブ会長



主
題

クラブの為にまず自分が楽しむ
For the good of the club, first enjoy yourself.

京都ワイズメンズクラブ
会長代行 竹花 佑磨

1年間、おつかれさまでした。また、皆様ありがとうございました。
今期は、昨年11月に前会長が急遽退会され、私が会長代行として就任いたしました。
右も左も分からないまま、ワイズ活動に向き合うことにより皆様に助けられ非常に感謝しております。
今期の京都クラブの活動ですが、退会者や体調不良等で出席できない方など、非常に苦しい期となりました。
それに伴って、HPの消滅やブリテン発行問題、クラブ行事参加比率の減少など、クラブ内で考えていかなければいけない現状で、クラブ存続危機でもあります。しかしながら、一つ一つ解決すべく、現状打開しようと動いております。前ワイズメンに協力要請をお声がけし、クラブを守るために一人一人が奮起しております。
今期には1名の新入会者がおり、会員増強の為にクラブ体制立て直しを行ってまいります。
今期は継続事業をなんとか継続でき、3ヵ年計画であるリトリートセンター「隠れ家（保育園児のための）」も6月中旬に完成することができました。
来期も引き続き会長をさせていただきますので、何卒よろしくお願いいたします。



主
題

継続的な発信

副
題

やるからには楽しもう

京都パレスワイズメンズクラブ
会長 安原 弘治

振り返ってみると自分はクラブメンバーにすごく助けられた一年だったなと思いました。
各所出席する事は確かに多かったです。もちろん顔を出すことで出会いの機会も多く会長でないと出来ない経験もたくさんありました。準備することも多く仕事、家庭、ワイズのバランスをうまく取れなくなった時はしんどかったですがメンバーが話を聞いてくれました。三役にはおんぶに抱っこでありがたい限りです。僕の頼りなさを先回りで指摘してくれたりフォローをしてもらったりで決定するだけの流れを作ってくれていました。
クラブとしては80人を入れると大風呂敷を広げましたが、クラブのメンバーのおかげで11名もの入会者を獲得出来まして64名となりました。パレスクラブより主任、主査を排出させていただくことでクラブのメンバーが一つになれたと思います。ラオス事業に関しましては京都部の各クラブ会長にご協力をお願いをさせていただきました。その節はありがとうございました。おかげさまで有志の会も大きく広がり西日本区で特別委員会を設置する運びとなりました。有志の会としましては期を過ぎ今後ともご協力よろしくお願いいたします。



主
題

～らしくあれ～

副
題

STAY DREAM(あきらめるな)

京都ウエストワイズメンズクラブ

会長 林 茂

この一年間、会長としてクラブを率いる機会をいただき、非常に充実した時間を過ごすことができました。18クラブが一体となって活動する京都部の一員として、多くのイベントやワーク、奉仕活動、例会などに参加し、皆様と共に数々の素晴らしい経験を共有できたことを心から感謝しております。

任期中は、大変な局面もございましたが、会員の皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、無事に任務を全うすることができたと思います。皆様のご協力がなければ、成し遂げられなかったことばかりです。

今後は、会長という重責から離れ、一会員としてクラブ活動を楽しむ所存です。これからは肩の力を抜き、リラックスした気持ちでクラブの活動に参加しながら、新たな視点で皆様と共に成長していきたいと思います。1年間、ありがとうございました。そして、京都部の役員の皆様、お疲れ様でした！



主
題

繋ごう未来に向けて

副
題

50年から100年へ

京都めいぶるワイズメンズクラブ

会長 岩見 祥司

老体に鞭を打ち、早1年が経とうとしています。

慌ただしい上半期を終え、下半期は新年例会や半期総会でスタートし、3月には今期のメインでもあるめいぶる40周年記念例会を迎えました。IBC先の韓国仁川文鶴クラブ、台湾台中長春クラブからも総勢32名の参加をいただき、トライアングル締結30年以上になるにも関わらずこれだけ多くのメンバーに来ていただけることは大変喜ばしいことです。また、DBC先の熊本ひがしクラブからも自クラブの20周年例会間近にも関わらずお越しいただきありがとうございました。

総勢220名のご参加をいただき、舞妓さんの舞踊や大抽選会等、新しい企画を試み皆様への“感謝”という気持ちでさせていただきました。このような素晴らしい周年例会ができたことは吉本実行委員長はじめ松村副実行委員長、メンバーの皆様には感謝しかございません。ありがとうございました。

今期の会長主題である「繋ごう未来へ向けて～50年から100年へ～」のとおり次期山田会長以下若手メンバーに託していけたらと思っております。

最後になりますが、メンバーの皆さまお支え頂き会長職をさせて頂きましたこと感謝いたします。

一年間ありがとうございました。



主
題

Update Capital Spirit and Y's Spirit

副
題

～ 私たちが輝き続ける為に～

京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 椿森 昌史

キャピタルクラブ第41代会長として、クラブの創立40周年記念例会もあり、あわただしく始まった1年でした。始まる前の1年は、これまで以上にアンテナを張ってクラブの例会や事業活動、役員会に臨んでいたように思います。これまで三役や委員長をさせていただいた時もそうですが、あらゆる場面での、メンバーの協力がキャピタルクラブのスピリットになっていて、いつもみんなに助けてもらっている感覚が有り、特に先輩メンバーからは突然の電話で様々なアドバイスをいただけたりで、会長を受けるにあたり、心配事は少なかったように思います。実際、40周年記念例会の企画、運営、各事業委員会での活動など、自分の周りが動いて、自分は流れに身を任せている感覚で、より一層クラブの自力の大きさを感じられた1年だったように思います。自分自身、会長を経験する事でクラブはもとより、YMCAの活動やスピリットも感じる事が出来たことで、やっとスタートラインに立てたのではと思っています。また、京都部の各会長とも繋がる事が出来ましたし、これからのワイズメンズクラブの活動が、これまで以上に楽しく、やりがいのあるものになると思います。キャピタルクラブの皆さまには、1年間サポートしていただいて本当に感謝です。過ぎてみれば早かった1年で、少し未練も出てきましたが、今後は会長経験者として、新しいメンバーにアドバイスしながらクラブをサポートできる存在になっていけるように精進し、クラブやYMCAの発展に尽くしたいと思います。1年間本当に有難うございました。



主
題

温かく、楽しい1年を、みんなで。

京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 榎木 徳子

3月に大阪で開催された会長研修会、同期会長も知らない人ばかりで緊張していましたが、後会で少しずつ仲良くなり、ほぐれたのが懐かしく思い出されます。研修会でも知らないことばかり、会長をスタートしても、クラブのことはもちろん、京都部のこと、西日本区のこと、YMCAのこと、知らないことが多いのを痛感しました。会長としていろいろなイベントや会議に出ていく中で、ユースリーダーの活動を知る機会があったのは特に印象に残っています。不測の事態も想定しながらの企画、様々な準備の延長に子どもたちの笑顔があること、そしてその活動に親も救われていることを感じる事ができました。クラブとしては、東日本区・伊東クラブとDBC締結を結ぶことができました。その場に会長として関わることができたのは、とても有難いことです。今期は、1人の退会者がありながら新メンバーの獲得はできませんでしたが、嬉しいことに、数年来チャリティゴルフコンペやクリスマス例会などで親交を温めてきた方の、来期入会が決まりました。この1年で同期会長はもちろん、他クラブに知っている顔が増えました。知り合いが増えると、他クラブのイベントに行くのも楽しくなります。温かく、楽しい一年を、みんなで。と言いながら、一番楽しくて温かい気持ちで過ごせたのは私自身かもしれません。好きなことをさせてくれたプリンスクラブのメンバー、いろいろやりくりしてくれた家族、いつも声をかけてくれる京都部の皆様に感謝します。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



主
題

未来への架け橋

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 山田 祐輔

こんにちは。

京都ウイングワイズメンズクラブ第37期会長をさせていただきました、山田です。

今期は、当クラブから京都部長を輩出し、京都部部会のホストクラブとして始まりました。

人前で話すのはあまり得意ではなかった為、期が始まる前から京都部会の事を考えるとそのことばかり頭に浮かび、想像するだけで緊張していたのを思い出します。期が始まり、京都部のキャビネットの皆様や、他クラブの同期会長の皆様と交流が深まっていくにつれて、何となく緊張もほぐれていったように思います。

部会当日は、スマホに話す内容をメモ書きしていき、それをもとに話そうと思っていましたが、壇上に机や台が無く、スマホ片手に話すわけにもいかないので、急遽カンペなしで話すことになり、テンパりながらもなんとかしゃべり切ったのはいい思い出です。（内容はわかりませんが。笑）部会に関しましては、実行委員長やウイングメンバー、メネットをはじめ、キャビネットの皆様、他クラブ会長以下、他クラブのメンバーの皆様等の多大なるご支援を持ちまして、何とか成功に収めることが出来たことを、心より感謝申し上げます。今期1年間を振り返ってみますと、あらためてウイングメンバーの温かさを感じれたことや、同期会長の方々と交流を持てたことは、凄くいい経験になりました。この経験を糧にさらに成長していきたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



主
題

前へ 前へ

副
題

～ 洛中は、まだまだこれから～

京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 西村 和真

今期一年を終えて、クラブとしても私個人としても充実した期であったと思います。

13名のメンバーでスタートした今期、洛中クラブは6名の新しい仲間を迎えることが出来ました。例会等の活動も活気を増しました。そのすべての事業をささえてくれたメンバーの皆さんに感謝申し上げます。40周年までの5ヶ年計画の1年目としては良いスタートをきれましたし、次期以降につなげていきたいと思います。次期は新たな仲間を増やしていく事はもちろんのことですが、今期入会されたメンバーに未来のリーダーになってもらうためメンバー一丸となって前へ進んでいきたいと思っています。この一年会長として突っ走ってきましたが、いま改めて振り返ると課題も見えてきました。その課題を今後クリアしていくために何が出来るのか皆で考えていきたいと思っています。

～洛中は、まだまだこれから～です。まだまだ終わりませんし、まだまだ発展していきます。

その想いをクラブの全メンバーで共有し次期も活動していきたい。そう願う最後の会長報告とします。

個人的には、次期京都部 YMCA サービス・ユース事業主査を仰せつかりましたので忙しい一年となりそうですが、洛中クラブと両立しながらワイズライフを楽しんでいきたいと思っています。

一年間お世話になった皆様ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

主
題

「どうするエイブルクラブ」

副
題

「みんなで考えよう」

京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 砂地 一廣

京都部長さん、部役員さん、事業主査さん、クラブ会長の皆さんの笑顔が素晴らしい季節となりました。1年間ワイズメンズの活動にかけられた情熱が、あの達成感となりなんとも言えない自信にあふれた笑顔となるのでしょうか。今期は特にコロナ禍から解放された年で、YMCA が、各クラブがいつもの年のように多彩な活動を復活されました。京都部会もホストのウイングクラブの手作りで参加型の新しいスタイルの部会を演出されました。京都 YMCA もチャリティーランやミニバスケ大会が開催され、リトセンのハロウィンやさくらフェスタも多くの若いメンバーが家族づれで楽しみ、例年にない雰囲気となりました。各クラブでは例年の YMCA サービスと地域奉仕事業の活動とともに「仲間を増やそう」と武村京都部長の呼びかけにこたえ、毎月のように各クラブの例会で入会式が行われていました。エイブルクラブも先駆的なメンバーの活躍で 11 名ものメンバーを 1 月までに迎えることが出来ました。これは、クラブ始まって以来の快挙で、いまだ夢のようです。京都部で、また、クラブで応援いただいた皆様に感謝です。次期は 35 周年を迎えますが、どんなエイブルクラブに生まれ変わるか、お楽しみ、お楽しみ。

主
題

時代に応じたクラブへ

副
題

今出来る奉仕をしよう

京都グローバルワイズメンズクラブ

会長 寺久保 吉雄

今期Yサ事業に注力して参りました。YMCA オリエンテーションは2回参加しましたが、YMCAを明快にレクチャーしてるのにワイズ参加者が少なく、例会等で周知を促してはと思いましたが。歴史ある熊本クラブや名古屋クラブや宇都宮クラブのワイズの方の話を聞き、YMCA の熱い思い、考え方を知り、ワイズメンズクラブを正しく理解出来たように思います。YMCA の募金活動は、直接街頭や携帯でのハイブリッド募金方法を取り入れると良いと思いました。CS 事業では、新分野、京都グローバルサッカーアカデミーを開催し好評の為継続予定です。献金依頼方法も前期はゴルフ、今期は食事会を試みました。食事は誰でも参加出来るので今後もあらゆる友好活動に使用出来そうです。EMC 事業では、増強目標には及ばず 7 名の入会者がありましたが退会者もありました。交流事業では、DBC クラブ(熊本クラブ、宇都宮クラブ)、IBC クラブ(台湾)、京都他クラブ(えいぶる、ZERO、トゥービー、ウイング、パレス、北京都フロンティア、京都)、名古屋クラブ、阪和部合同新年例会、部会(京都部、びわこ部、中部)、区大会(西日本区名古屋、東日本区帯広・DBC 宇都宮クラブ)、周年例会(京都キャピタル、京都めいぶる、京都トップス)、合同例会(プリンス、ウェル、トゥービー)、ゴルフ(プリンス、ウェル、ブラック)と幅広く交流出来ました。ファンド・BF 事業は、じゃがいも販売、トスファンド例会、チャリティーゴルフと今期初のフラワーファンドを実施、年間目標収益 200 万円達成、BF 切手は不足分を献金でカバーしました。広報事業は、ブリテンの紙面デザインを一新しWEBブリテンも取り入れブリテンに載りきれない内容や例会動画も閲覧出来るようにしました。YMCA 保育園園長、リーダーなどの取材や、西日本区理事、京都部部長に寄稿依頼をしました。ドライバー委員会が主導し、例会マナーアップ、YMCA の歌・ワイズソング・グローバル宣言の唱和を必ず取り入れ、時間厳守のメリハリある例会を一年間通して実践する事が出来ました。また会費会則文献保存委員会を創立、現状維持の会費を次期より2通りシュミレート実践する事が決定しました。

主
題

今を未来につなげる

副
題

Sustainable Operation

京都トップスワイズメンズクラブ

会長 石田 博紀

この度、京都トップスワイズメンズクラブ 30 期会長として一年間を振り返り、ご報告させていただきます。まず初めに、当クラブの 30 周年記念例会に多くの方々にご参加くださり、心より御礼申し上げます。皆様のご協力とご支援のおかげで、記念すべき節目を盛大に祝うことができました。会長としての一年間、特に人選に多くの時間を費やしました。適材適所、最適なメンバーを選び抜くことが成功につながると確信しておりました。三役のメンバーと頻繁に話し合い、緊密なコミュニケーションを取りながら進めてきました。おかげで、委員長がその本領を発揮し、各委員会が円滑に運営され、多くの事業がスムーズに遂行されたことを非常に嬉しく感じております。時には参加できなかったこともありましたが、できるだけ多くの場でメンバーと共に活動できたことを嬉しく思います。

30 周年記念アクトでは、リトリートセンターに野外食堂に土間を設置することを達成することができました。また、CS 事業では支援施設においても記念事業を行い、社会貢献活動を一層強化することができました。今期の事業を通じて、Y サ・CS 事業に対するメンバーの関心を得られたと実感しております。これからも自身も積極的に参加しながら、事業の意義を伝え続けていきたいと考えております。一年間はあっという間に過ぎましたが、私にとって非常に貴重な経験となりました。クラブのメンバーのおかげで、多くのことを学び、成長することができました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。今後ともワイズメンズクラブの発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

主
題

Let's Have Fun

副
題想いは家族の為に、
行動は自分の為に！

京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 渡邊 聡

この一年間はクラブメンバーの皆さん、お会いしたワイズメンの皆さんに支えていただき、何とか最後までやりきれ、楽しい 1 年間を過ごす事が出来ました。この一年で沢山のワイズメンに出会えた事はかけがえのない資産です。また家族の支え無しでは会長を務める事が出来なかったと思います。合同例会が 4 回、メンバーの家族に参加してもらえた例会が 6 回、本当に沢山の企画をしてくれたドライバー委員会には感謝の気持ちでいっぱいです。釣り例会は子供達が楽しそうに釣りをしている姿を微笑ましく見ていました。台北 A-List クラブへの訪問、沖縄クラブ訪問、DBC クラブとの交流と何かと忙しく出かけていましたが、交流委員長の準備のおかげでどれも良い思い出になり、ワイズの楽しさを感じる事が出来ました。ワークなども減らしてもっと例会を楽しもうとお願いしていたのですが、それでも沢山の事業をしていただきました。メンバーの熱い気持ちに感謝です。何よりも沢山のメネット・コメントが参加してくれた事に本当に嬉しく思っています。これからは我々の事業に関心と興味をもってもらい、是非、家族ぐるみでトゥービークラブに関わってもらえると嬉しいと感じています。やり切った感もあれば、なぜこうしなかったんだろうと思うと心残りもあります。独り善がりのところはありますが、会長としてメンバーに支えてもらい、わがままを聞いてもらえた一年だと感じています。本当に 1 年間ありがとうございました。



主
題

地域と共に飛躍する東稜

副
題

最高で忘れられない20周年

京都東稜ワイズメンズクラブ

会長 栢本 和佳

まずは1年間終えたことにホッとしております。しかし1年間会長して活動してきましたが、正直解散という悲しい結果に終わってしまいました。

私の力不足が原因で申し訳ない気持ちです。そんな中でもたくさんのことをこのワイズメンズ、東稜の活動で学ぶことができました。この経験は今後の人生に大きく活かせると実感しています。

20年間東稜クラブを支えて頂きました、京都部の皆様、他クラブの皆様本当にありがとうございました。



主
題

STAY GOLD

副
題

いつまでも輝き続けるクラブで

京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 湧田 泰一

皆様、今期1年間の活動お疲れ様でした。私自身がワイズの活動自体をあまり理解が出来てなまに、今期の活動がスタートしました。会長の役割が何なのかどうすればクラブが良くなるのかなど色々悩むこともありましたが、会長を任せてもらったのだから、どうせなら1年間やりたいことをやって、おもいきり楽しもうと思い活動をしました。そのせいで三役をはじめ役員の方にはご迷惑をおかけしましたが、全ての方から支えて頂き無事に1年を終えることができました。会長になってからのワイズ活動は今まで普通に参加していた例会とは見え方や感じ方が違いとても充実した物となりました。会長になった際に目標としていた、新し活動や行事がしたい件もウイングクラブとの合同例会を開催することができ叶えることができました。例会、二次会とも盛り上がり楽しく過ごせました。また、京都部部会、名古屋で行われた西日本区大会でのバナーセレモニーはとても良い思い出になっています。この1年間クラブメンバーの皆さんと様々な例会に参加させてもらい少しはワイズとは何かが理解できたと思っています。主題にも掲げました「STAY GOLD」の通り輝き続けられた1年になりました。

このように私が楽しく1年を過ごせたのはメンバーの皆様がいてくれたお陰です。

改めて本当にありがとうございました。

この会長としての1年間の経験を活かし今後もウェルクラブの一員として頑張っ参りますので今後ともよろしくお願いします。



主
題

笑顔で！

副
題

～あなたがワイズメンであることの
意味と誇りの確認を！～

京都 ZERO ワイズメンズクラブ
会長 西村 寛子

無事 1 年間の会長職を務め終えてほっとしているところではあるが、果たして自身が期首に目指した活動が実現できたのであろうかと自問自答の日々ではある。

「ワイズメンであることの意味と誇りの確認」このことは、ワイズ活動の根幹にあるものであって、これがあってこそワイズ活動に自分の大切な時間を使って奉仕できるのだと思っている。この自覚があってクラブ内での自分の立ち位置もおのずと明らかになるし、他のメンバーへの思いやりにもつながると思って積極的にこのことを再三伝えてきたつもりではある。

そのかいもあって各委員会委員長は期首にお願いした会長意向に従い積極的に事業を企画実現してきてくださったし、その思いに会員の多くが答えてくださった。が、なかなか動かしがたいメンバーもあって全体の参加率は少し寂しいままで期末を迎えたのが現実だ。

しかしながら確実に、会長意向は伝わってきているし 15 期を迎える今、若いメンバーの力が集結してしっかりとした ZERO の先へのビジョンも見え始めている。次次期期首に開催の 15 周年記念例会に向け新たな一步を踏み出そうとしている ZERO クラブに大いに期待して会長期を終われることを嬉しく思う。メンバーに感謝の一年であった。



主
題

やってみよう♪

副
題

みんなが自然と笑顔になれる空間に
～Everyone can smile naturally～

北京都フロンティアワイズメンズクラブ
会長 丸山 拓哉

何事もやってみないと分からない、それならば「やってみよう♪」の精神で会長をお受けしてから早 1 年が経過しました。バタバタでスタートした年度でしたが中盤からは落ち着きを取り戻し、会員の皆様のおかげで 1 年間楽しく活動をさせていただくことができました。

7 月には 2 名の新入会員を迎えることができました。12 月には、当クラブの大きな地域奉仕事業であります、「第 4 回 YMCA 杯学童野球大会」を開催しました。第 4 回目で地域に浸透してきた大会となり、7 チーム参加のもと無事に開催することができました。寒さを吹き飛ばす子供たちの一生懸命なプレーに感動しました。

舞鶴 YMCA 国際福祉専門学校生徒の就職に向けた模擬面接にも参加させていただきました。また本年は、韓国人留学生の生徒たちを例会に招待し学びを深めると共に、送別会を企画して楽しく国際交流を図りました。

4 月には舞鶴で開催された大型音楽イベント「MAIZURU PLAY BACK FES 2024」にキャンプボランティアとして初参加しました。京都トップスクラブ様にもご協力をいただき、参加された皆様お一人お一人にとってかけがえのない思い出を作ることができたと考えています。

第 8 期が終わり、第 9 期へとバトンを繋ぐことができ大変嬉しく思います。そして先に見えてくる 10 周年に向けて会員一同邁進して参ります。

本年度の活動にご協力をいただきました全ての皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

主
題

Lead To BLACK

副
題

何事にもブレることのない活動を、
力強いクラブを目指す

京都ブラックワイズメンズクラブ

会長 木代 路万

ワイズメンになって、2年。様々なことがあったし、色々な方と出会えて、ボクの生活では一生体験出来ないようなことも経験させていただきました。熊本の西日本区大会では、星の指輪Ⅱ、名古屋では巴里Ⅲ。と、女難の相があるボクですが、現地の方々とも触れ合えて、すごく素敵なお出かけ事業にもなりました。日本でワイズメンズクラブが発足した1930年代。もう90年以上前の時代。デュポン社の素材のアイボリーやダグラスの翼、ポンペイの赤なんかに通じるエキスポレーションと、何かと出会うことによって何かが生まれてきた時代。その時代を懐かしいと思うこともないし、決してリメンバーとも思いません。ただ1930年代が放っていたストレートさと、出来上がりつつあった様々な文化やモノや経済が、必然的にクロスしてワイズメンズクラブも誕生したんだろうし、その頃に放たれていた自己主張の強さは今、見逃せないと思います。決して完全無欠ではないけれど、だからこそ惹かれるテイストがあるということも、ワイズメンズクラブに教えてもらいました。あまりにもパーフェクトを要求される現代だからこそ、あの30年代のテイストに、ワイズメンズの活動が魅力的でチャームに感じるのだと確信しています。そんなアレやんかいさハッキリ言うての精神で、来期は我らにもに隠し球ありやと思います。お供させていただきます。会長は惚れっぽい保険屋です、今期もよろしくお願いいたします。

主
題

ワイズの活動を楽しむ！

副
題

Reestablish Y's Ties
～ワイズの絆の再構築～

沖縄ワイズメンズクラブ

会長 手登根 正

はいさい！

本年度の会長の任を引き受け、沖縄でのワイズの活動を本格的に再スタートする中で、

1. 再開したワイズメンズクラブの活動を整える
2. 沖縄YMCAとの連携再構築
3. ワイズの活動を楽しみなが地域に仕える

の三本柱で進めていくことを年度期初に計画をしましたが、その中でも、全国でも低所得地域とされる当地では、経済的に厳しい環境で成長する子供が多く、この子供たちが十分に満たされて成長することができるよう、地域奉仕を模索してまいりました。特に、ひとり親家庭や厳しい経済環境の中にいる子供たちの支援をするためにも、学童保育を有する沖縄YMCAとの連携再構築を進めてきました。これには、沖縄新風クラブとも手を携え、双方のクラブに属する会員が持つ事業領域を活用した沖縄YMCAへの提案を行い、まずは、絵本コーナーの開設を行いました。次のステージとして、学童保育に属する子供たちを対象とするプログラミングとドローン教室の開設の提案を行い、これには次年度にかけて展開を模索していく予定です。この方向性は、ワイズ側からお届けするプログラムが、子供たちの将来を見据えるための体験となるものこそが支援となると考えているものです。この一年の活動は、輝かしくて速い展開での支援をするのではなく、沖縄YMCAとの関係を建て上げてゆくために、無理をせず改めて一步一步進めたものです。これは、うちなータイム（沖縄での時間の流れ）の特性を生かし、また、当クラブの中でも沖縄生まれの会員が窓口となり、沖縄YMCAとの関係をワイズの活動を通して、私生活を通して、その関係を育んだものとなりました。また、残りの課題は、次年度への目標として継続してまいります。本年度も京都部、京都トゥービーワイズメンズクラブの皆さまにご支援をいただき、本年度が終わりますことを感謝申し上げます。



主
題

沖縄からワイズの新しい風を!

沖縄新風ワイズメンズクラブ

会長 金武 朝成

沖縄クラブからチャーターを受け、2023年5月27日に発足し、1年を少し過ぎた所となりました。年度の途中からの発足で、右も左も分からないまま今期を終える事となりました。

クラブ員もまだ少なく、EMC目標も未達となり、不甲斐ない結果であると言えます。活動方針でありました、沖縄YMCAとの関係に関しましては、少しずつではありますが、着実に改善の方向へと向かっている状況となります。今後とも、関係強化を図り、支援していければと思います。

先日、名古屋で行われた西日本区大会では、沖縄クラブの手登根会長とともに、京都部の各クラブの皆様との交流もさせていただきました。まだ実績も出ていませんが、京都部に温かく迎え入れられているのを感じました。京都部の勢い、居心地の良さに甘えてしまいそうになりますが、気を引き締めて活動していきたいと思います。次期も、継続して会長を務めさせていただくことになりましたので、また親交を深めながら、ワイズ活動を進めていきたいと思います。

28期 京都部 PHOTOGRAPH



28 期 京都部 PHOTOGRAPH



